



ファインテクノロジーで未来を拓く

NaigaiTEC 内外テック株式会社

JASDAQ・コード3374

2012年3月期 第2四半期決算説明会

2011年11月29日

2012年3月期 第2四半期決算概況

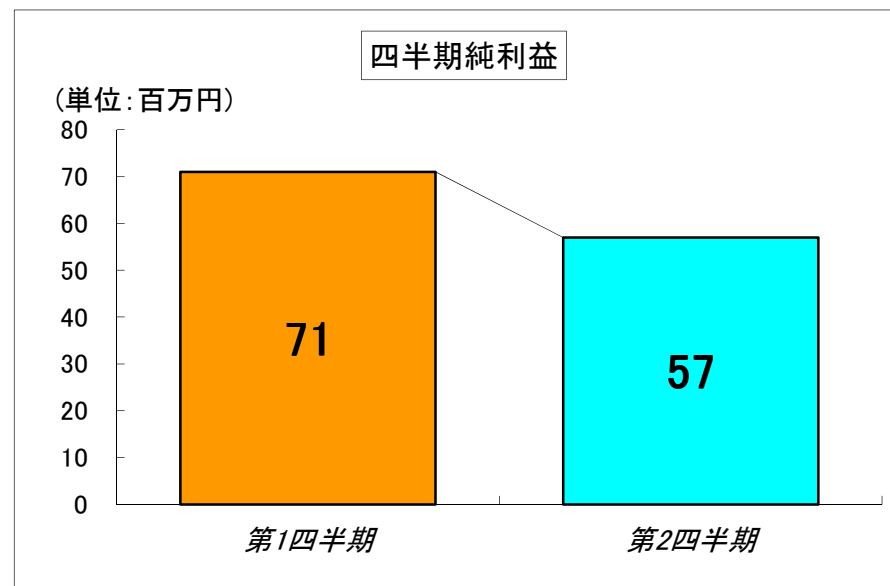
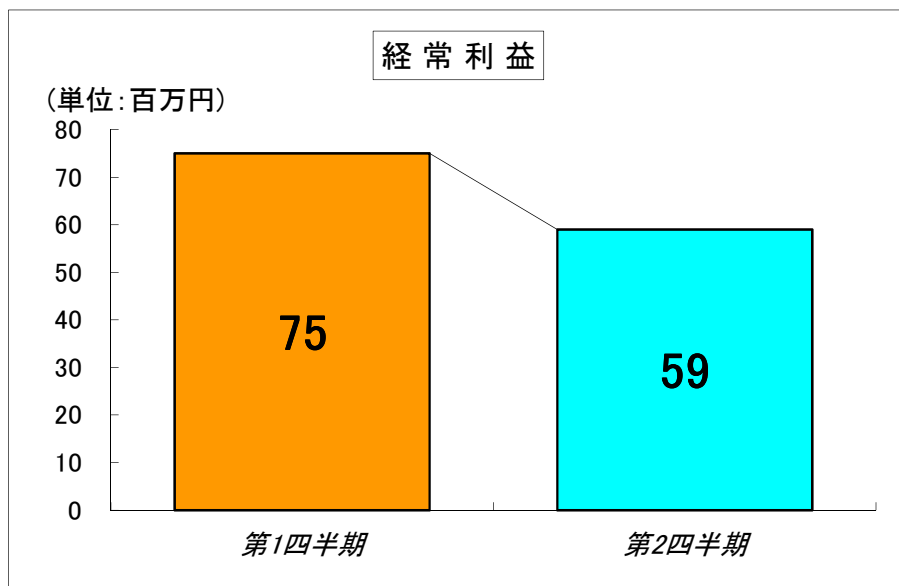
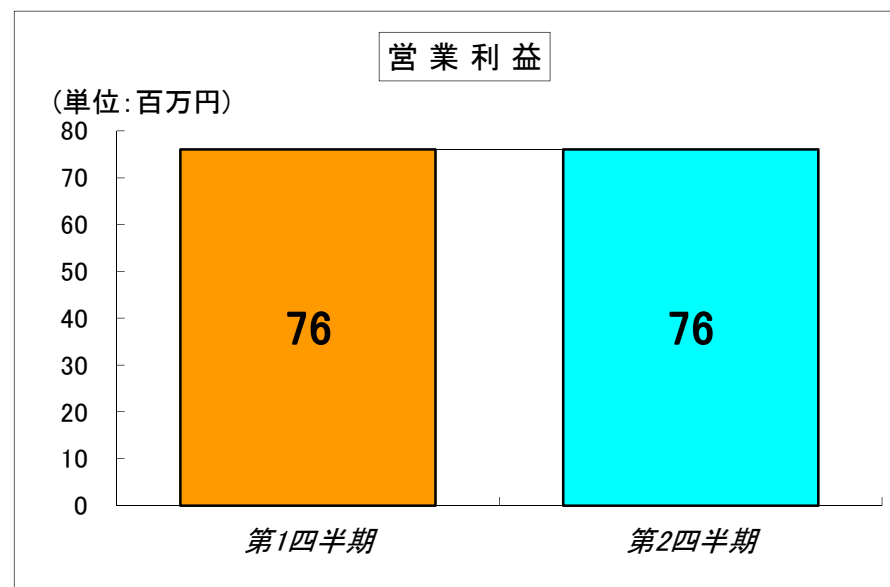
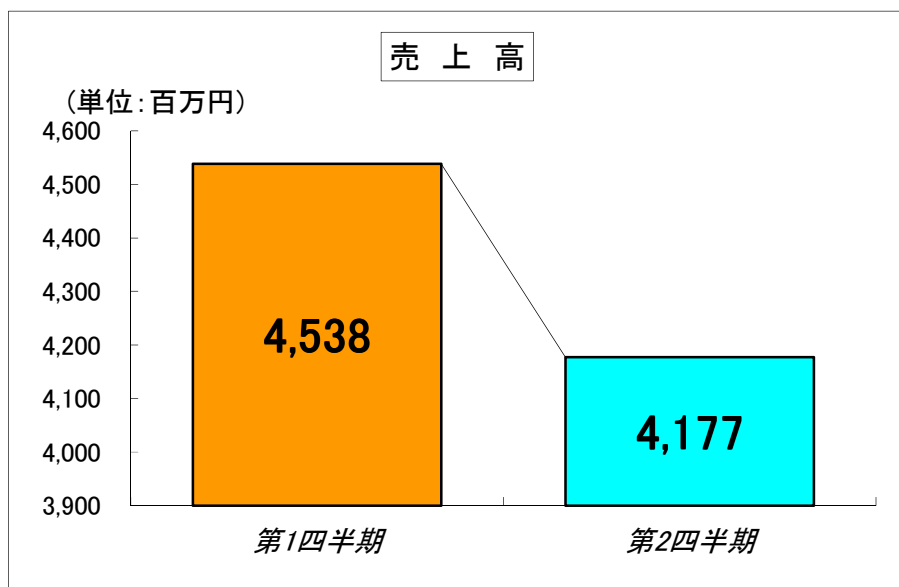
1. 連結 2012年3月期 第2四半期 累計 の概況

単位:百万円

連 結	2011/3月期		2012/3月期		2012/3月期		前年同期比	対予想比
	第2四半期 累計(実績)		第2四半期 累計(5/13発表予想)		第2四半期累計 (実績)			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比		
売 上 高	8,694	100.0%	8,960	100.0%	8,716	100.0%	0.3%	-2.7%
販売事業	8,117	93.4%	8,465	94.5%	8,194	94.0%	0.9%	-3.2%
受託製造事業	576	6.6%	495	5.5%	521	6.0%	-9.5%	5.3%
売 上 原 価	7,808	89.8%	8,031	89.6%	7,832	89.9%	0.3%	-2.5%
売 上 総 利 益	885	10.2%	929	10.4%	883	10.1%	-0.2%	-5.0%
販売費及び一般管理費	679	7.8%	743	8.3%	731	8.4%	7.7%	-1.6%
営 業 利 益	205	2.4%	186	2.1%	152	1.7%	-26.0%	-18.3%
経 常 利 益	179	2.1%	171	1.9%	134	1.5%	-24.9%	-21.6%
特 別 損 益	-27	-0.3%	-	-	-0	0.0%	-	-
四 半 期 純 利 益	148	1.7%	166	1.9%	129	1.5%	-12.7%	-22.3%

売 上 高	第2四半期に入り、半導体製造装置メーカー等からの受注減少
売 上 総 利 益	コストダウン要求により利益率低下
営 業 利 益	売上原価の増加と販売費・一般管理費の増加
経 常 利 益	有利子負債等の増加による営業外費用の増加（助成金収入他、営業外収益増加）
四 半 期 純 利 益	法人税等を4百万円計上

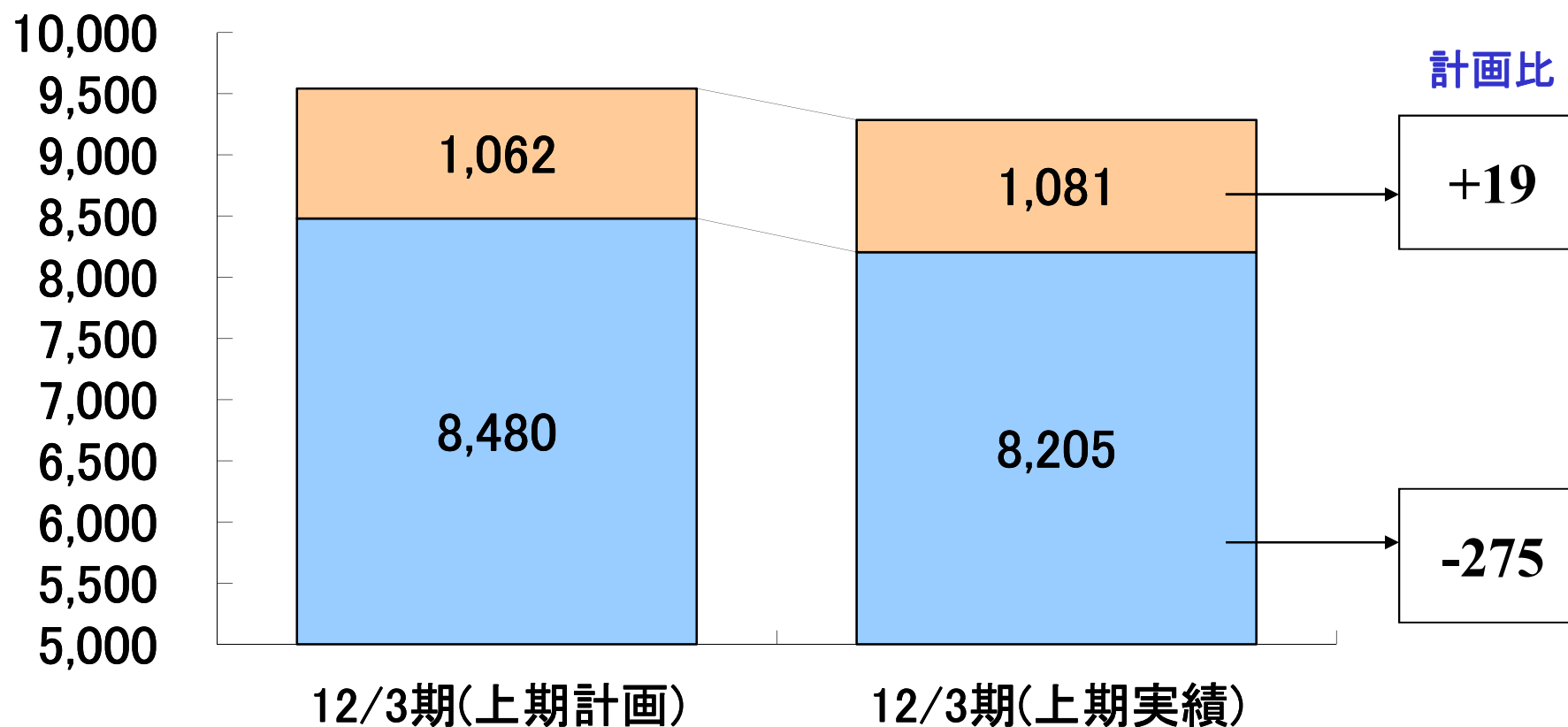
2. 連結 2012年3月期 四半期比較(1Q>2Q)



3. 上期 セグメント別売上高 計画比

受託製造事業
 販売事業

(単位:百万円)

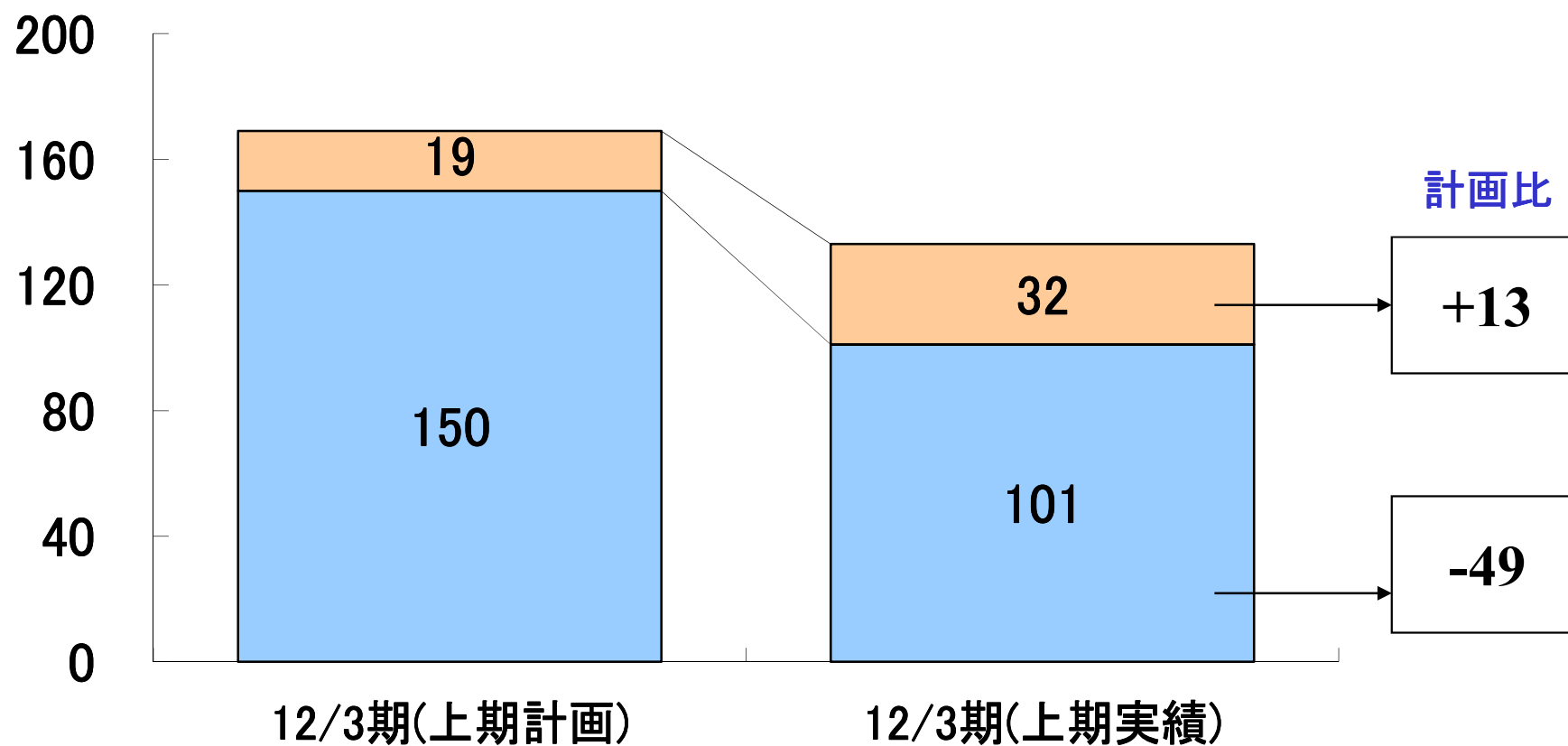


注) 連結単純合算よりセグメント内取引を消去した内容で表示しております。

4. 上期 セグメント別営業利益 計画比

受託製造事業
 販売事業

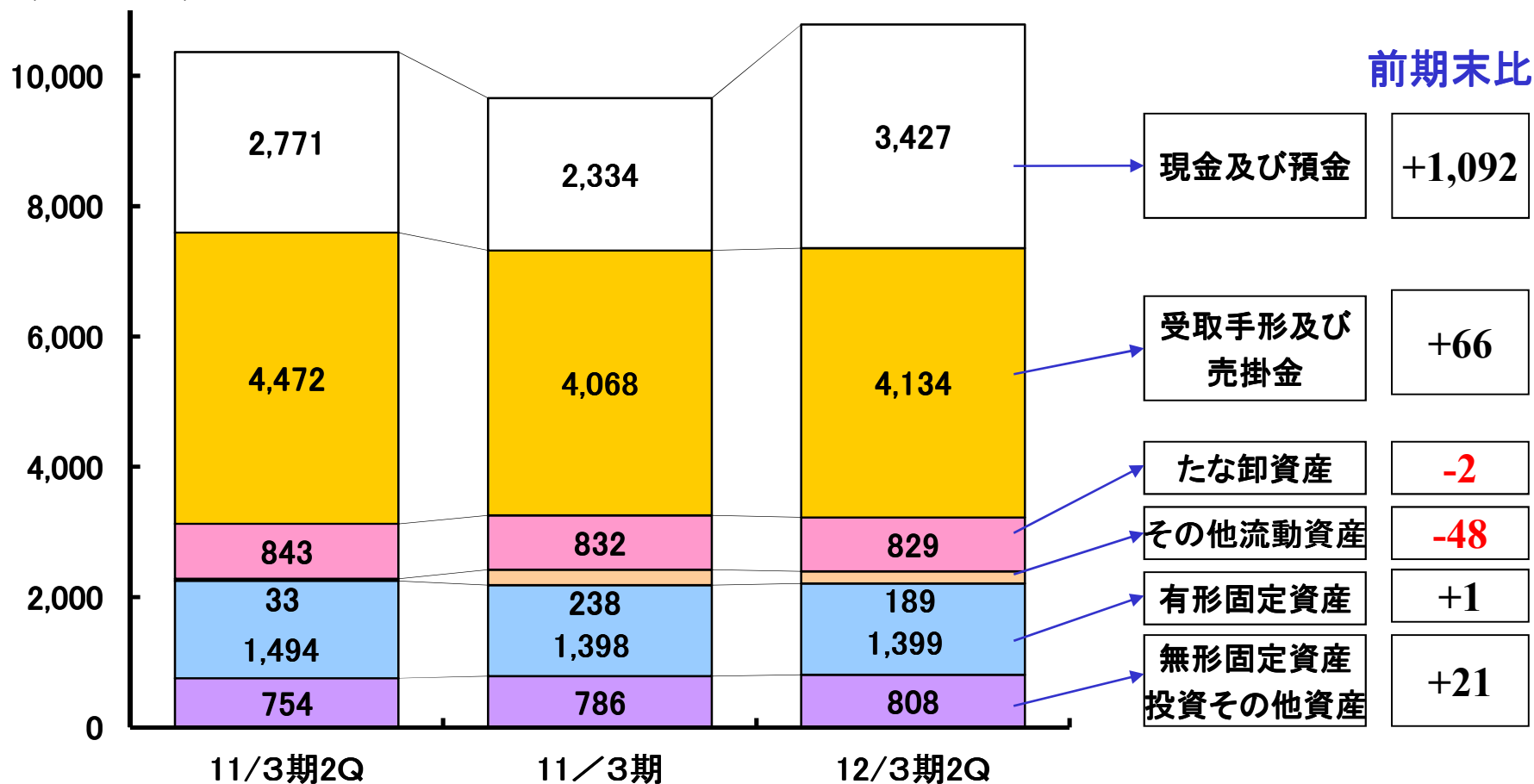
(単位:百万円)



注) 連結単純合算よりセグメント内取引を消去した内容で表示しております。

5. 連結 資産の部推移

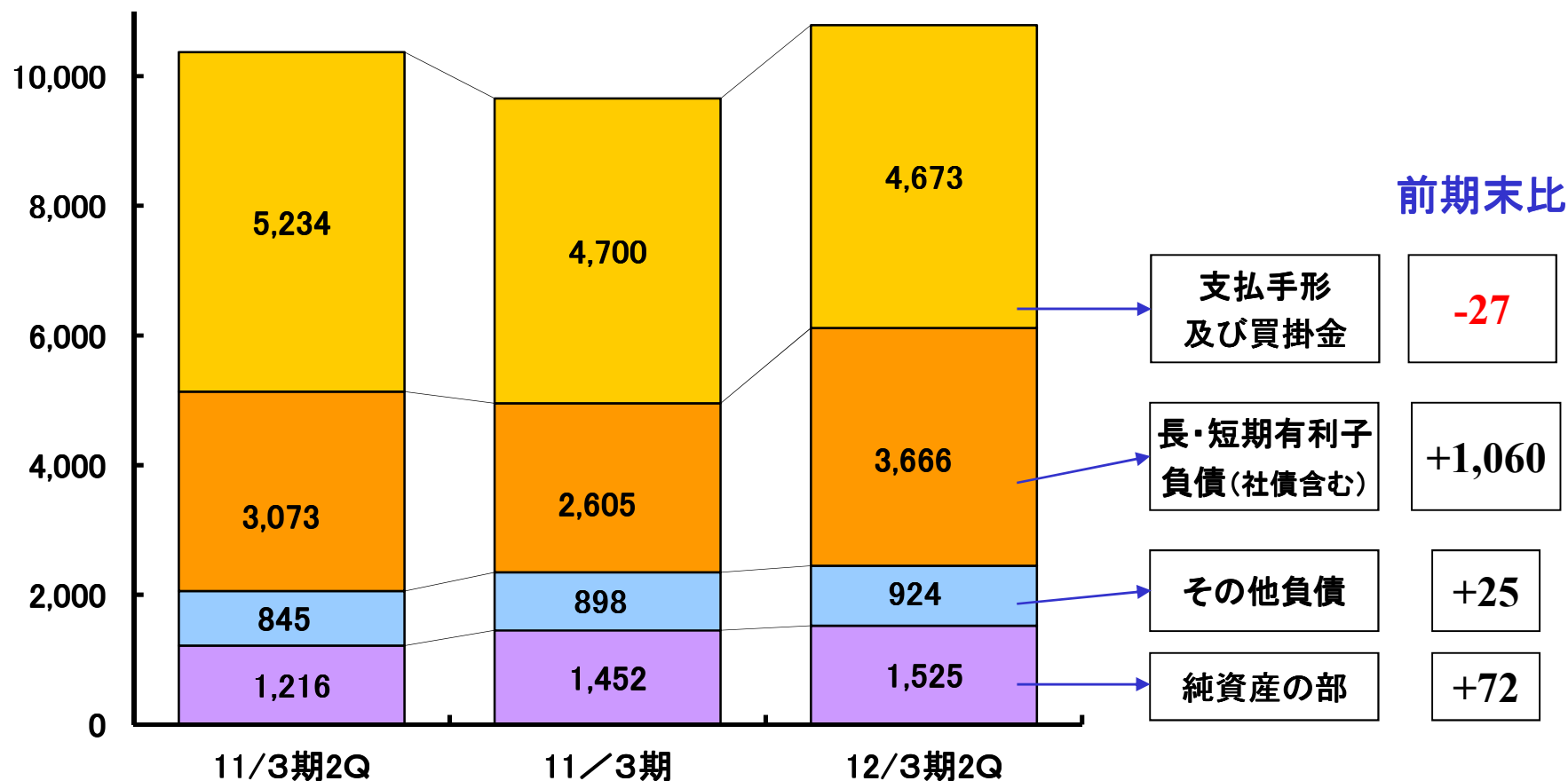
(単位:百万円)



現金及び預金	+1,092	長期借入金調達及び社債発行による増加
受取手形及び売掛金	+66	第2四半期売上高の増加(前期第4四半期比)
たな卸資産	-2	商品(-4)、原材料(+3)、仕掛品(-2)
その他流動資産	-48	未収入金(-49)、前払費用(+2)
有形固定資産	+1	固定資産の取得(+23)、減価償却費(-21)
無形固定資産・投資その他資産	+21	リース資産(+14)、投資有価証券(-7) 長期前払費用(+2)、差入保証金(+4) 長期貸付金(-1)、長期性預金(+9)

6. 連結 負債・純資産の部推移

(単位:百万円)



支払手形及び買掛金	-27	売上高及び受注の減少
長・短期有利子負債(社債含む)	+1,060	長期借入金調達(+1,250)、社債発行(+300) 長・短期借入金返済(-438)、社債償還(-51)
その他負債	+25	未払法人税等(-4)、未払消費税(-19)、預り金(+3) 賞与引当金(-13)、退職給付引当金(+29) リース債務(+30)、資産除去債務(-1)
純資産の部	+72	利益剰余金(+80)、有価証券評価差額金(-8)

7. 連結 財務分析(キャッシュ・フロー)

単位:百万円

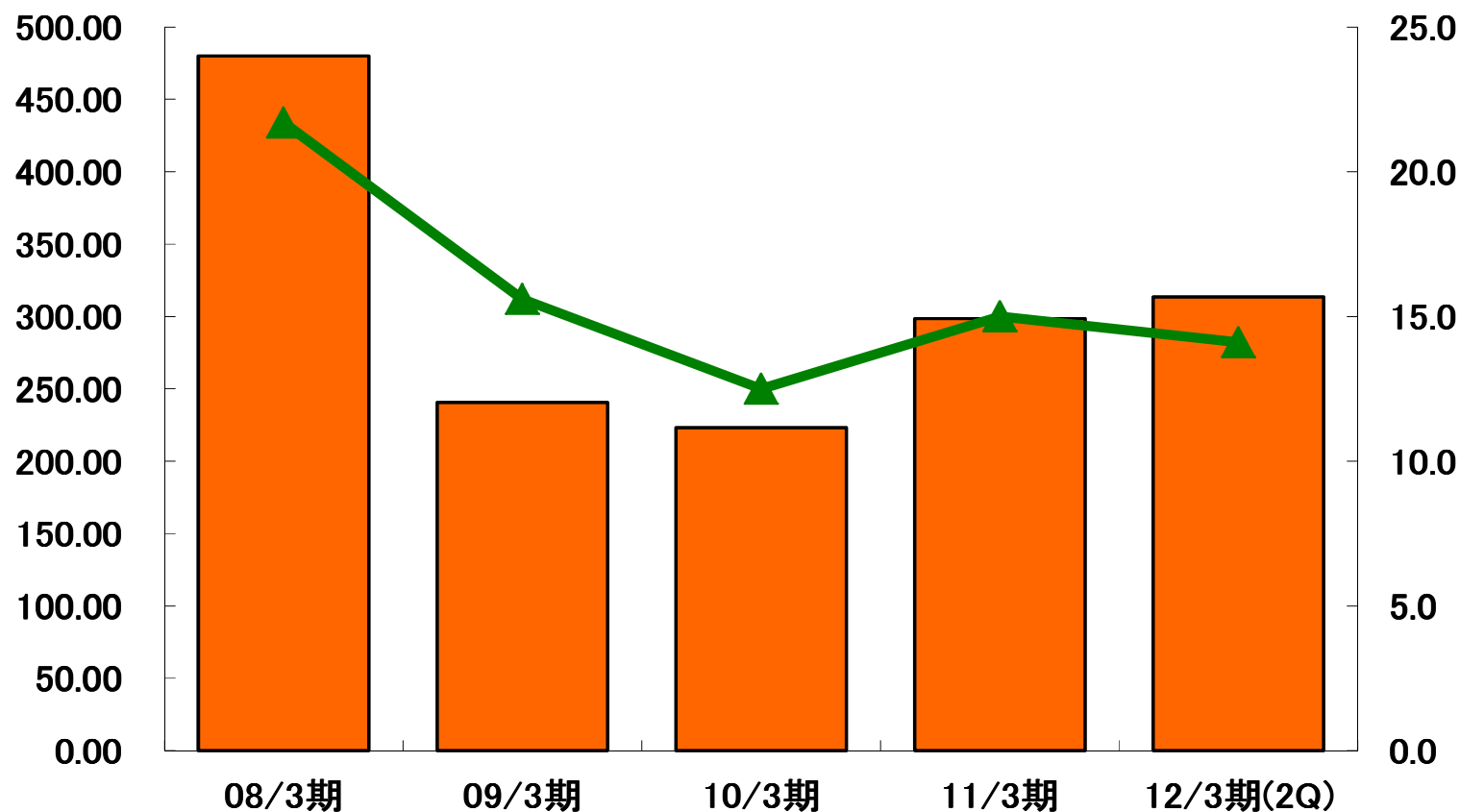
連結キャッシュ・フロー	2011/ 3 月 期 第 2 四 半 期 累 計	2012/ 3 月 期 第 2 四 半 期 累 計	11/3期(参考)
営業活動によるキャッシュ・フロー	274	106	288
税金等調整前四半期純利益(当期純損失)(△)	151	133	226
減価償却費	23	24	49
売上債権・たな卸資産・仕入債務の増減	△ 90	△ 90	△ 208
その他	189	39	219
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 42	△ 31	△ 45
投資有価証券の取得・売却	1	△ 1	128
固定資産等の取得・売却	△ 6	△ 7	△ 12
その他	△ 37	△ 22	△ 162
財務活動によるキャッシュ・フロー	327	1,008	△ 142
有利子負債の増減	341	1,057	△ 124
配当金	△ 14	△ 48	△ 14
その他	-	-	△ 3
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	559	1,083	99
現金及び現金同等物の期首残高	1,770	1,869	1,770
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	2,329	2,953	1,869

財務活動によるキャッシュ・フローは、主として長期借入金と社債の純増額1,060百万円により1,008百万円となる。

8. 主な経営指標の推移(連結)

(単位: 円)

(単位: %)



連結		08/3期	09/3期	10/3期	11/3期	12/3期(2Q)
	一株当たり純資産(円)	480.03	240.56	223.05	298.54	313.44
	自己資本比率(%)	21.7	15.6	12.5	15.0	14.1

2012年3月期の予想と 市場動向

9. 連結 2012年3月期の予想

単位:百万円

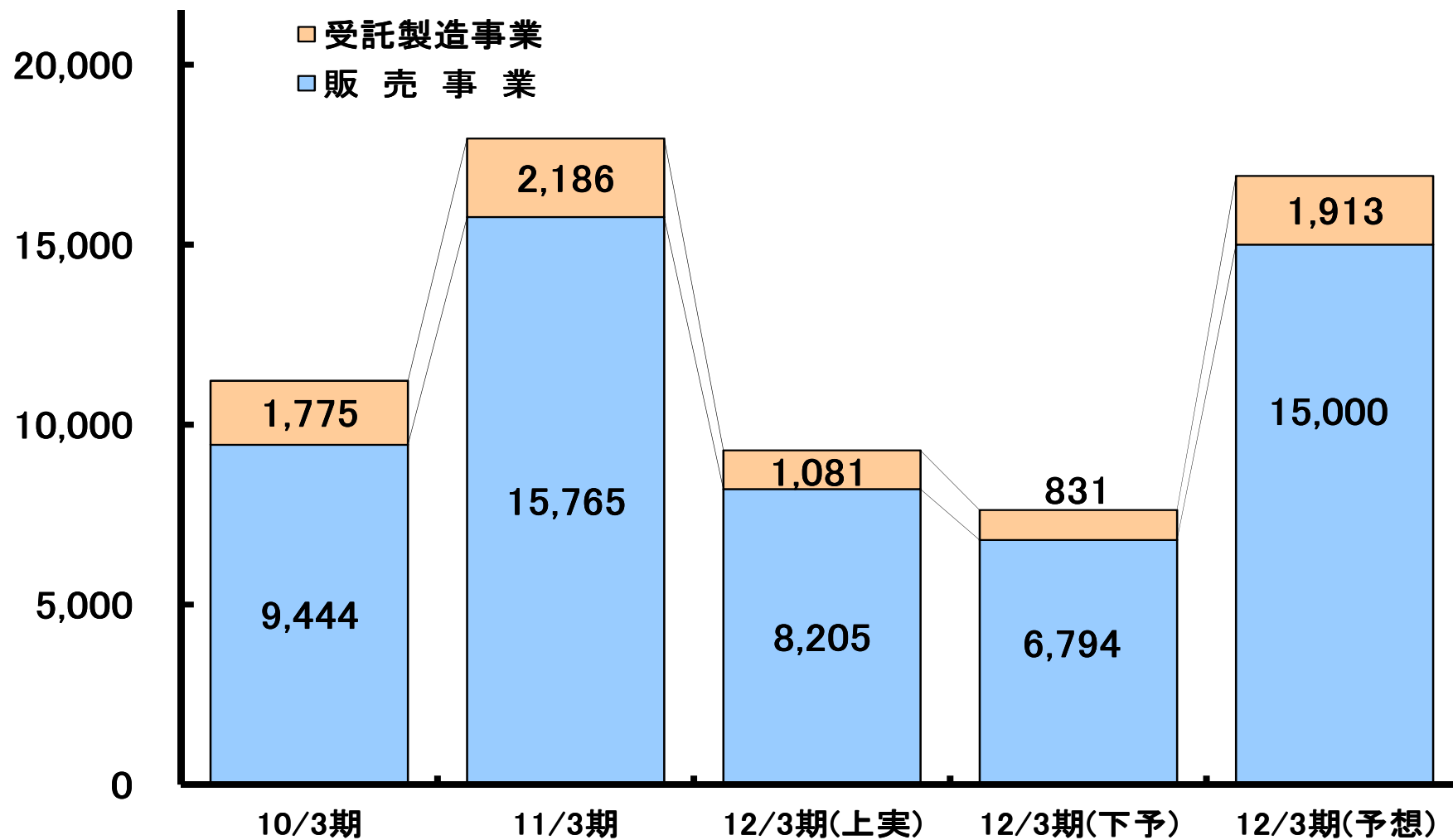
連 結	2011/3月期	2012/3月期 (予想)			前年同期比
	実績	上期 (実績)	下期 (予想)	通期 (予想)	
売 上 高	16,881	8,716	7,283	16,000	-5.2%
販 売 事 業	15,737	8,194	6,782	14,977	-4.8%
受託製造事業	1,144	521	501	1,023	-10.6%
売 上 原 価	15,170	7,832	6,486	14,318	-5.6%
売 上 総 利 益	1,711	883	797	1,681	-1.7%
販売費及び一般管理費	1,379	731	730	1,461	-6.0%
営 業 利 益	331	152	67	220	-33.7%
経 常 利 益	286	134	40	175	-38.8%
特 別 損 益	-59	-0	-	-0	-
当 期 純 利 益	389	129	35	165	-57.6%
1株当たり四半期(当期)純利益(単位:円)	79.98	26.60	7.32	33.91	

<2012年3月期の見通し>

- ・ 下期売上高は、景気の不透明感により半導製造装置等の装置需要に減速懸念が見込まれ減少
- ・ 原価改善による売上総利益率のアップ

10. セグメント別売上高推移と予想

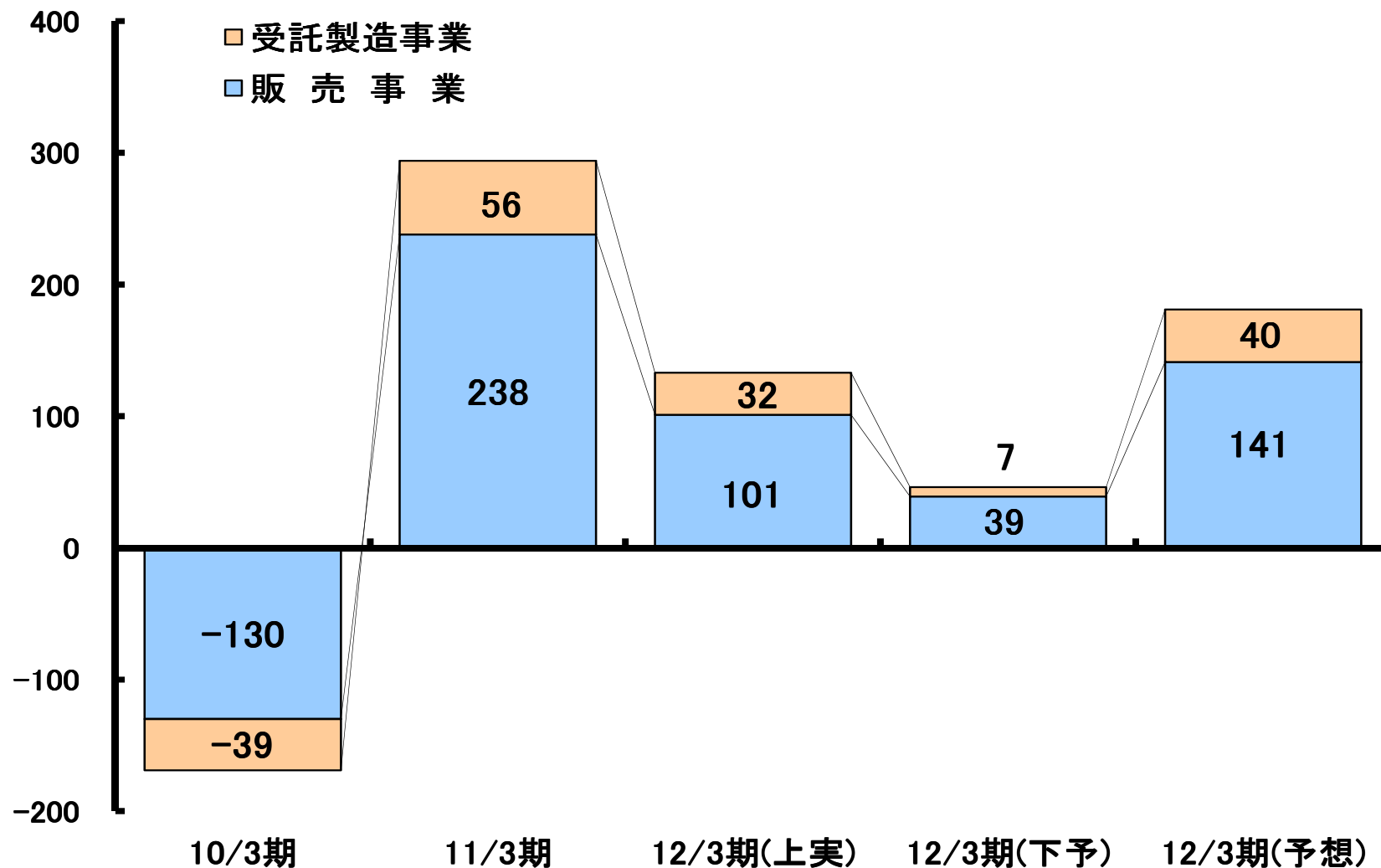
(単位:百万円)



注) 連結単純合算よりセグメント内取引を消去した内容で表示しております。

11. セグメント別営業利益推移と予想

(単位:百万円)



注) 連結単純合算よりセグメント内取引を消去した内容で表示しております。

12. 2011年度下期の市場動向

各分野における当社取扱い製品の市場動向及び見通し

	2011/5/30 決算説明会	2011/11/29 上期決算説明会
全体の市場動向	Q2以降、順次拡大を見込むが、震災の影響が残り2008年レベルまで回復せず	Q1の急拡大とQ2後半の急激な落ち込み、Q3の後半から再度回復予想 円高進行、タイ水害の影響不透明
半導体製造装置(前工程) 販売部門 製造部門	Q1後半より回復を期待 Q1後半より操業アップ (下期より当初計画どおり製造部門の主力分野として成長期待)	Q3後半より、回復期待(Q1レベル) Q3後半より予定通り操業アップ Q3前半は顧客工場移管準備のため操業度低下
半導体検査装置	メモリー分野からロジック分野の転換進捗中	下期はメモリー、ロジックとも、低迷
液晶製造装置	上期にピーク、Q3後半減速 (中国を中心としたG8は再ピークが2012年度へ中小型装置は安定成長)	下期は大幅減速、次回は2012年上期以降
太陽電池製造装置	太陽電池組立工程装置は順調に推移を予測	下期、中国の金融引締め影響により不透明
一般産業機械	地区的な成長力に差 (東日本 < 西日本 < 中国)	タイ水害被害に対する緊急対応 顧客操業度低下と設備緊急導入の影響不透明

13. 2011年度下期の重点施策

上期の対応

1. 震災対応

- ・工場、物流拠点ともQ2以降、直接的な影響なし

2. 海外戦略

- ・納宜伽義機材(上海)商貿有限公司 (中国上海市)営業開始

下期の対応

1. 日本、アジア地区におけるBTB取引開始準備
2. グループの製販強化・顧客要求事項の変化に対応する新生産管理システムの構築
3. 利益率改善を目指した、調達方針の見直し
4. 輸出入管理、環境規制、品質管理、BCP対応の見直し
5. グローバル調達に対する組織変更と現地対応

検討事項

1. 環境関連ビジネスの海外展開
2. 半導体市場以外の海外調達ビジネスの強化

本日はありがとうございました。

- ・ 本資料はH23年3月期決算及びH24年3月期の予想及び今後の経営戦略等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。
- ・ 本資料に記載された意見、計画、予測等は、資料作成時点での当社の判断であり、その実現・達成を保証、約束するものではなく、また、その情報の正確性、完全性を保証、約束するものではありません。
- ・ 本資料に記載された内容は、予告なしに変更されることがあります。